

第7回長期総合計画審議会における意見等

平成29年11月7日（火）13：30～

章	頁	対象	意見	対応
1章	P.24		国、県の説明について出典を明記する。	修正
2章	P.27	基本理念	基本理念の文中に2つの街道について入れてみてはどうか。	前文を修正
	P.33	都市構造	まわりの都市も示して書いてみてはどうか。高野口インターは他都市の影響がある。	他市とのつながりについて、「交通軸」の説明文と、都市構造図を一部修正。
	P.33		軸として繋がりのあるところは、説明しないとけない。	
	P.34～35		他市との繋がりを表示してほしい。	
	P.34～35		地域拠点は住居と商業で分けてみてはどうか。	「地域拠点」の説明文を修正
	P.34		地域拠点は、商業のファクターで書かれていることから、生活機能としては、購買、あるいは消費の拠点である。商業の言葉を居住、消費（購買）等の生活機能の集積をはかると変えてみてはどうか。	
	P.35		地域拠点としては、高野口インターも入れるべきではないか。	それぞれの拠点については、現状で集積がある場所や、すでに整備が決まっている所に配置しており、紀の川など今後利用を検討する箇所については、個別計画の中に盛り込んでいる。
	P.34		交流レクリエーション拠点に紀の川の河川沿いなども入れてみてはどうか。	
	P.34		新たなレクリエーション拠点となる場所を探す、といったことを入れられないか。ワクワクするような内容を入れたい。	
	P.34		ゾーンや拠点はエリアを固有名詞で指定しているので、多様な可能性を示すような書き方にしたほうがよい。	
P.34	具体的な名称が先にきているので、そのようなイメージになってしまう。			
—	将来可能性のあることに投資をしていかなければならない。			
3章	P.44～46	先行	先行プロジェクトに目標値を入れないのか。先行に進めることで他に波及する。	先行プロジェクトの説明文を修正。概念図を追加。
	P.44～46		目標値についての説明文を入れる。	
	P.76	個別計画	消費生活については防犯よりの内容になっている。防犯対策ではないのか。	
	P.76		消費生活は消費者保護としてはどうか。	
	P.92		施策の展開に「空き家の再生～」があるが、「10年後のめざす姿」に対応する内容が書かれていない。	個別計画全体について、目標値の設定は現実的なものとなっているか、指標名は施策の評価・検証・分析が可能なものとなっているかについて再度確認し、部分的に修正を加えた。
	—		目標値の設定が甘い。全体的に見直す必要があるのでは。計画で良いことを書いても目標値がこれでは情けない数値である。100%の目標値はありえない。例えば、P.119安全、安心の100%について、リアリティがない。	
	—		各課で再度、目標値の検討を行うにあたり、第2章の内容を踏まえて検討してもらうこと。	